品店技人

―ファイル13―

プロフィール
藤本（ふじもと）　堅悦（けんえつ）
昭和18年8月4日
横手市生まれ

有限会社
藤本乳業
横手市蛇ノ崎町7-33
TEL.32-5620 FAX.32-5616
【創　　業】大正2年
【取 扱 品】牛乳

後継者問題に悩んでいる事業所が多い昨今、創業以来家族一丸となってがんばっている㈲藤本乳業さんにお邪魔しました。牛乳の製造から販売まで全てを自社でされている拘り。社長さんのお話を伺っていると、拘っているのはどうやらそれだけではないようです…。

「どこに牛さんがいるの？」と不思議に思いながら、スタッフ一同まずは事務所を尋ねました。事務所では奥さんが私達を出迎えてくれました。

中へどうぞ～。

どうも～。今日はよろしくお願いします。

まずは厚生労働大臣表彰おめでとうございます。

全国で五名の受章とお聞きしましたが…。

そうですね。東北・北海道では一人だけで、秋田県からは十数年ぶりの受章だそうです。

まー、宝くじに当たったようなもんですね（笑い）

それはやっぱり社長さんが今までやってきたことに対しての功績だと思います。

実は申し訳ないのですが、私達はまさかこの横手の町中で乳牛を飼って、絞りたての牛乳を販売されているということを知らなくて、びっくりしたんです。牛はどこで飼っていらっしゃるんですか。

家の後ろで飼っていて、毎日朝と夜の二回絞って、前にある工場で牛乳を作っています。牛の顔は後で見てください。

ずっとこの場所で営業されているんですか。

創業が大正二年、私で三代目になりますが、ずっとこの場所でやっております。

町中なので色々気をつけています。一週間に一回はたい肥を自分の田畑に運んでいます。そのたい肥を春になったら畑に撒いて、牛の飼料のレッドコーンや趣味の家庭菜園などを作ります。田んぼには化学肥料を一切使わない稲を植えて、刈り取った後のワラは、「はさがけ」をして干して使います。そういうサイクルでやっています。

なるほど！良い具合にサイクルが出来ていますね！

ところで販売は宅配だけですか。

ほとんどが個人への宅配ですが、ホテルにも若干卸しています。ビンに名前が書いてあるもんだから、ホテルの宿泊客から、たまに電話で注文がくることもありますよ。

生産している商品も牛乳だけですか。

そうです。うちは牛乳一筋です！加工乳ではない、一〇〇％生に拘って作っています。「他の乳製品も作ったら」と色々な人に言われますが、牛乳を専門に作り宅配し、それを飲んだお客さんに「おいしい！」と言ってもらえるのが、一番うれしいですよ。

これだけお客さんに「おいしい」と言ってもらえる牛乳を、横手だけにとどめておくのは、もったいないような気がするんですが…。

ありがとうございます。最近は旧横手市だけでなく、合併して新横手市になった地域とか、仙南の方まで行っています。

（奥さん）どうぞ！飲んでください。

―奥さんが出来たての牛乳を持ってきてくれました。スタッフ一同飲みながら取材続行！―

とってもまろやかで飲みやすくておいしいですね。

―一気に飲み干してしまったスタッフ（ごちそう様でした！）

ところで、社長さんは防犯パトロールにも力を入れてらっしゃるとお聞きしたんですが、きっかけはどんなことでしょうか。

▲ビンだから、おいしさそのまま！

きっかけは、戦後、軍隊にいた父親がやっていたのが始まりで、私はそれを引き継いだということですね。一番最初にやったのは、不動産業者で始めた「アパート防犯協会」です。私がまだ三十代の頃でした。その後に自分で立ち上げたのが、「よこてレインボーパトロール隊」（以後＝レインボー隊）です。昨年から暴力追放推進協議会の会長もやっています。

▲このステッカーが目印！

朝の配達の牛乳販売、新聞販売、日中はヤクルト販売、市の水道課、赤帽運送、東北電力、夜中は運転代行業と七業種の人たちで成り立っています。横手市が合併したので、現在の隊員は五〇〇人程になりました。

「よこてレインボーパトロール隊！」私達もよく耳にする名前です。どんな業種の方達が隊員になっているんですか。

はー、すごい人数ですね！

これらの業種だと二十四時間活動できるため、もし何かあってもすぐ通報できるということです。

なるほど！今は「田舎だから関係ない」とはいわれない時代になってきていますからね。

実はこれは私の持論ですが、横手市を治安の良い、秋田県で一番の住みよい街、安心して住めるまちづくりを目指しているんです。その為に作ったのがレインボー隊なんです。私達の業種はお年寄りの一人暮らしなど目が届く業種でもありますから。地域に住む人がいなくなれば、我々も仕事が出来なくなってしまいますしね…。やるからには徹底して、地域が連携してみんなでやるしかないんです！

今度レインボー隊の女性部もできるとか…？

はい。まだ準備段階ですが…。もともとは増田町の女性部の方達が、防犯等をテーマにした劇を施設などで公演していたそうなんですが、横手市が合併したのをきっかけに、私達のレインボー隊の女性部として参加の予定もあります。

いつも事件に巻き込まれるのは幼い子供やお年寄りですから、そういった防犯に関する劇を見て知識として頭に入れておくことはとても大事なことですね。

これからの季節、お祭りがあったり、春先は事件の起こりやすい時期になりますので、是非気をつけてもらいたいと思います。

話が変わって申（モー）し訳ありませんが、牛の写真を取らせてもらっても良いでしょうか。いいですよ。

―一同牛舎へ移動―

▲しっかりカメラ目線の牛さん

大きいですね。（スタッフ一同牛の大きさに圧倒され！）でも目はかわいいかも…。

うちの牛は、名工の沖田鈑金さんに作ってもらった器で餌を食べているんですよ（笑い）

あら！贅沢ですね！

でも色々考えてみると、こうやって牛を飼うのも生産するのも、家の中でやっているから長く続けてこられたと思っています。これが皆別々の場所でやっていたら、とっくに辞めていたかもしれませんね。

今後何か計画されていることはありますか。

実はもう四～五年で創業一〇〇周年になるので、何か横手市に貢献したいと家族と話をしているんです。今はそれを目標にがんばっています。

これから大きなことを何か始めようという予定はないですが、今まで通りこつこつ積み上げていこうと思っています。

今までも横手市に貢献してきて、一〇〇周年には、また市に貢献したいとおっしゃる社長さん。自分の生まれたこの町に対する愛情の深さに脱帽です！